

【報告者】津田 早紀

【学年】5年

【教科・単元名など】社会 「中小工場で働く人たち」

【実践内容】

小田原市内のかまぼこ工場「杉兼」・バス運賃箱等の工場「小田原機器」のビデオを見て、工場内の様子や働く人の思いを知る。

学習活動

1. 「杉兼」のビデオを見る。

- ・ちくわ作りの製造過程
- ・工場内にある機械の説明
- ・作っている品物
- ・働いている人の話
 - 働いている人の人数
 - 仕事内容
 - 仕事をしていて願うことや悩みなど

2. 「小田原機器」のビデオを見る。

- ・バス運賃箱の製造過程
- ・工場内にある機械や部品の説明
- ・働いている人の話
 - 働いている人の人数
 - 仕事内容
 - 仕事をしていて願うことや悩みなど



3. 見学した「日産車体」の工場との違いを考える。

【反省】

- ・ クラス内の児童の保護者が経営している工場内の様子や話を、ビデオに撮影させてもらった。友達の家を扱ったため、身近に感じながらビデオを見たり、話を聞いたりすることができた。かまぼこ工場については、3年生の時に学習したことを思い出しながらビデオを見ているようだった。ビデオの補足説明を工場の子供がする場面もあった。
- ・ どちらの工場も原料や部品を他の工場から仕入れてくるというつながりはあるが、大工場の下請けという形ではないため、教科書に書いてあるような大工場の影響を受けるということはない。教科書に書いてあることだけでなく、実際は工場によっていろいろな願いや悩みを持っていることが実感できた。
- ・ 児童の見学については、どちらも行うことは難しい。

<参考文献> なし